

## 県下の地価公示の特徴

### 1 全 体

- (1) 継続調査地点 311 地点のうち軽井沢町の 2 地点で横ばいとなった他は、全地点で下落しました。
- (2) 用途別の平均変動率は、住宅地で-3.2% (0.5 ポイント縮小)、商業地で-4.5% (0.5 ポイント縮小)、準工業地で-3.2% (0.5 ポイント縮小)、工業地で-4.6% (1.0 ポイント縮小)、市街化調整区域内宅地で-4.4% (0.3 ポイント縮小) となり、全用途で下落幅が昨年に比べ縮小しました。

### 2 住宅地

- (1) 継続調査地点 189 地点のうち軽井沢町の 2 地点で横ばいとなった他は、全地点で下落しました。
- (2) 平均変動率は、-3.2%と 15 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年(-3.7%)より 0.5 ポイント縮小しました。下落幅の縮小は、2 年連続です。
- (3) 市町村別では、すべての市町村で下落となりましたが、軽井沢町 (H23 -3.9%→H24 -0.5%)、山形村 (H23 -5.2%→H24 -3.6%)、池田町 (H23 -5.5%→H24 -3.9%) など 32 市町村で下落幅が縮小、中川村 (H23 -1.5%→H24 -2.1%)、飯綱町 (H23 -6.4%→H24 -6.8%) など 11 市町村で下落幅が拡大、南箕輪村 (-2.9%) の 1 村で昨年と同じ下落率となりました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小 (H23 -3.1%→H24 -2.9%) しました。
- (5) 松本市では、下落幅が縮小 (H23 -2.7%→H24 -2.2%) しました。
- (6) 最高価格地点は、長野-13 (妻科神社南) で 88,300 円/㎡ (-2.6%) でした。  
これは、平成 12 年に標準地に設定して以来 13 年連続です。

### 3 商業地

- (1) 継続調査地点 87 地点すべてで下落しました。
- (2) 平均変動率は、-4.5%と 20 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年(-5.0%)より 0.5 ポイント縮小しました。下落幅の縮小は、2 年連続です。
- (3) 市町村別では、すべての市町村で下落となりましたが、小諸市 (H23 -7.4%→H24 -6.0%)、上田市 (H23 -6.7%→H24 -5.7%)、安曇野市 (H23 -4.2%→H24 -3.2%) など 27 市町で下落幅が縮小、飯山市 (H23 -3.2%→H24 -3.7%)、白馬村 (H23 -6.6%→H24 -7.1%) など 6 市町村で下落幅が拡大、信濃町 (-6.0%) の 1 町で昨年と同じ下落率となりました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小 (H23 -4.4%→H24 -3.8%) しました。
- (5) 松本市では、下落幅が縮小 (H23 -4.6%→H24 -4.0%) しました。
- (6) 最高価格地点は、長野 5-2 (長野駅前) で 404,000 円/㎡ (-6.0%) でした。  
これは、平成元年に標準地に設定して以来 24 年連続です。